

シラバス（申請用）

区分	ろう孔管理関連
担当指導者	宮田 正年、中瀬 浩二郎、合原 彩、岡崎 裕二、川勝 雪乃、安居 幸一郎、竹林 真澄、宇尾ユミコ
時間	22
学習概要	<p>「ろう孔管理関連」で共通して学ぶべき事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 胃ろう、腸ろう及び膀胱ろうに関する局所解剖 2. 胃ろう、腸ろう及び膀胱ろうを要する主要疾患の病態生理 3. 胃ろう、腸ろう及び膀胱ろうを要する主要疾患のフィジカルアセスメント 4. カテーテル留置と患者のQOL 5. カテーテルの感染管理 6. カテーテル留置に必要なスキンケア <p>特定行為「胃ろうカテーテル若しくは腸ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換」で学ぶべき事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 胃ろう及び腸ろうの目的 2. 胃ろう及び腸ろうの適応と禁忌 3. 胃ろう及び腸ろうに伴うリスク（有害事象とその対策等） 4. 栄養に関する評価 5. 胃ろう造設の意思決定ガイドライン 6. 胃ろう及び腸ろう造設術の種類 7. 胃ろう、腸ろうカテーテル及び胃ろうボタンの種類と特徴 8. 胃ろう、腸ろうカテーテル及び胃ろうボタンの交換の時期 9. 胃ろう、腸ろうカテーテル及び胃ろうボタンの交換の方法 <p>特定行為「膀胱ろうカテーテルの交換」で学ぶべき事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 膀胱ろうの目的 2. 膀胱ろうの適応と禁忌 3. 膀胱ろうに伴うリスク（有害事象とその対策等） 4. 膀胱ろう造設術 5. 膀胱ろうカテーテルの種類と特徴 6. 膀胱ろうカテーテルの交換の時期 7. 膀胱ろうカテーテルの交換の方法
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> ①ろう孔管理関連の特定行為を安全かつ確実に実践するための基礎的知識・技術を身につける ②医師の指示の下、手順書により、身体所見等が医師から指示された病状の範囲にあることを確認し、「胃ろうカテーテル若しくは腸ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換」の実施の判断、実施、報告の一連の流れを適切に行えるようになる ③医師の指示の下、手順書により、身体所見等が医師から指示された病状の範囲にあることを確認し、「膀胱ろうカテーテルの交換」の実施の判断、実施、報告の一連の流れを適切に行えるようになる ④手順書の案を作成し、自身の臨床経験や環境、患者に応じて再評価・最適化できる能力を養う
研修方法/ 評価方法	<p>講義（放送授業・面接授業）：e-ラーニングの受講/確認テスト、添削指導</p> <p>講義（手技動画）（放送授業・面接授業）：手技動画の視聴/手技練習の観察評価</p> <p>OSCE（実技試験）：シミュレーターを用いた実技試験の実施/評価表（DOPS）を用いた観察評価</p> <p>実習（面接授業）：①手順書、②患者に対する実技</p> <ol style="list-style-type: none"> ①手順書案の作成、特定行為実施後の再評価/医師による評価 ②特定行為の適応・病状の範囲・行為内容の判断・実施・報告、レポート提出/評価表（DOPS）を用いた観察評価、レポートへのフィードバック <p>※経験すべき症例数は、行為の難度に応じて5症例とする</p> <p>試験（筆記試験）：修了試験の実施（教室に集合しPC端末もしくは試験用紙を用いて行う）</p>
備考	<p>研修時間には、講義、評価を含みます</p> <p>講義時間には、動画再生時間、動画中の課題の時間、確認テスト（テスト受講、採点、解答確認）の時間を含みます。自学の時間は含まれません</p> <p>患者に対する実技を行う実習の前にシミュレーションによる学習（手技練習）および実技試験（OSCE）を行います</p>

学習内容	タイトル	講義	実習	OSCE	評価	合計	学習概要
「ろう孔管理関連」で共通して学ぶべき事項							
講義	胃ろう、腸ろう及び膀胱ろうに関する局所解剖と生理	1				9	1
	胃ろう、腸ろうを要する主要疾患の病態生理とフィジカルアセスメント	1					2, 3
	胃ろう、腸ろうのカテーテル留置と患者のQOL	1					4
	胃ろう、腸ろう患者の管理	1					5
	胃ろう、腸ろうのカテーテル留置に必要なスキンケア	1					6
	膀胱ろうを要する主要疾患の病態生理とフィジカルアセスメント	0.5					2, 3
	膀胱ろうのカテーテル留置と患者のQOL	0.5					4
	膀胱ろう患者の管理～カテーテル管理とフォローアップ～	1					5
	膀胱ろう管理で起こりうるトラブルとその対応	1					5, 6
	在宅環境におけるろう孔管理	1					3~6
試験	ろう孔管理関連（共通） 修了試験				1	1	
		9	0	0	1	10	

特定行為「胃ろうカテーテル若しくは腸ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換」で学ぶべき事項							
講義	胃ろう及び腸ろうの目的、適応、禁忌	0.5					1, 2
	栄養に関する評価	0.5					4
	胃ろう造設の意思決定ガイドラインおよび胃ろう造設術	0.5					5, 6
	胃ろう造設術後管理と胃ろうに伴うリスク	0.5					3, 6
	胃ろうカテーテルおよび胃ろうボタンの種類と交換	0.5					7~9
	腸ろう造設術と腸ろうに伴うリスク	0.5					3, 6
	腸ろうカテーテルの種類と交換	0.5					7~9
	胃ろうおよび腸ろうの地域連携	0.5					1~9
講義 (手技動画)	胃ろう・腸ろうカテーテルまたは胃ろうボタンの交換	1.5	*			1.5	9
OSCE	胃ろう・腸ろうカテーテルまたは胃ろうボタンの交換			*	*	0	1~9
実習	胃ろう・腸ろうカテーテルまたは胃ろうボタンの交換（手順書の作成）		†			0	1~9
	胃ろう・腸ろうカテーテルまたは胃ろうボタンの交換（患者に対する実技）		5症例		‡		1~9
	胃ろう・腸ろうカテーテルまたは胃ろうボタンの交換（手順書の見直し）		†				1~9
試験	胃ろう・腸ろうカテーテルまたは胃ろうボタンの交換 修了試験				0.5	0.5	
		5.5	0	0	0.5	6	

- * : 手技動画を視聴後、シミュレーターなどを利用して手技練習を行う
- ‡ : 患者に対する実技の前にOSCE（10～15分程度の評価を含む）を行う
- † : 臨床経験や施設に応じて手順書案の作成、見直しを行う
- ‡ : 患者に対する実技では、1症例ごとに10～15分程度の観察評価を行う

学習内容	タイトル	講義	実習	OSCE	評価	合計	学習概要
特定行為「膀胱ろうカテーテルの交換」で学ぶべき事項							
講義	膀胱ろうの目的、適応、禁忌	1				4	1, 2
	膀胱ろうに伴うリスク、有害事象とその対応、対策	0.75					3
	膀胱ろう造設術および意思決定・患者説明	1					4
	膀胱ろうカテーテルの種類と交換	0.75					5~7
	膀胱ろうの在宅医療と地域連携	0.5					1~7
講義 (手技動画)	膀胱ろうカテーテルの交換	1.5	*			1.5	7
OSCE	膀胱ろうカテーテルの交換			*	*	0	1~7
実習	膀胱ろうカテーテルの交換（手順書の作成）		†			0	1~7
	膀胱ろうカテーテルの交換（患者に対する実技）		5症例		‡		1~7
	膀胱ろうカテーテルの交換（手順書の見直し）		†				1~7
試験	膀胱ろうカテーテルの交換 修了試験				0.5	0.5	
		5.5	0	0	0.5	6	

* : 手技動画を視聴後、シミュレーターなどを利用して手技練習を行う

* : 患者に対する実技の前にOSCE（10～15分程度の評価を含む）を行う

† : 臨床経験や施設に応じて手順書案の作成、見直しを行う

‡ : 患者に対する実技では、1症例ごとに10～15分程度の観察評価を行う